

# スウェーデン式サウンディング試験



調査状況

スウェーデン式サウンディング試験 (SWS試験) とは、静的貫入試験の1種であり、JIS A 1211および、国土交通省告示第1113号に規定されています。

調査方法は、おもりを載せたネジ状の先端部 (スクリーポイント) を回転させながら地中へ貫入し、25cm貫入するのに要する半回転数を測定します。その値から地盤の強さを判断します。

主に戸建住宅や擁壁などを設置する際の、地盤の支持力 (地耐力) 特性を把握する調査として多く用いられています。

試験を依頼される場合には、お近くの営業所、または佐奈工場までお問い合わせください。



2tユニック車で試験機を現場へ降ろします。車が入っていない現場では、調査ができませんのでご了承ください。また、雨天時にも測定値が変化してしまうため調査できません。



試験機を据付後、スクリーポイントをロッドの先端につけて、測定地点に垂直に立てます。



順に荷重をかけていき、貫入の深さ、および貫入させるのに必要な半回転数を記録します。また、土質 (どしつ) を判定するために、貫入する音などの状況なども記録します。



調査で十分な支持力 (地耐力) を確認したのちに、擁壁などを設置します。N値で15程度、地耐力で120(kN/m<sup>2</sup>)程度が測定可能範囲です。